



北海道大学医療技術短期大学部

〔所在地〕〒060 札幌市北区北12条西5丁目

〔電話〕011-711-2111

〔学 科〕理学療法学科

作業療法学科

看護学科

衛生技術学科

〔募集人員〕理学療法・作業療法学科各20名

看護学科80名

衛生技術学科40名

〔修業年限〕各科共3年(昼間)

〔倍 率〕理学療法学科6.2倍(昭和58年入試)

作業療法学科4.7倍(")

〔創 設〕55年10月1日

沿革

クラーク博士の Boys be Ambitious (青年よ大志を抱け) を開学精神に築かれた、全国一広いキャンパスをもつ、北海道大学内に、昭和55年10月1日、医療技術短期大学部が設置され、昭和56年度より看護学科、理学療法学科、作業療法学科、の三学科で発足し、年次計画のもとに57年度には衛生技術学科が設置された。今後、診療放射線技術学科、助産学科などが予定されている。

旧国立7帝大では、全国に先がけて始めて理学療法学科、作業療法学科が北海道大学に開設された。これは北海道民の長年の念願であったが、昭和59年春には第一期の卒業生が誕生する。慢性化している道内のPT、OT不足の解消にもなるであろう。

教育内容・目標

現在、本短期大学部の教官構成では、一般教養は教授

(心理学、化学、生物、英語、体育)と助教授(社会学、数学、物理、独語)の9名が担当し、専門教育は理学療法学科教官8名(教授2名、助教授4名、助手2名、うちRPT5名)、作業療法学科8名(教授2名、助教授3名、講師1名、助手2名、うちOTR5名)である。さらに同じキャンパス内に他学部があるところから、医学部を中心に各部門の専門家の応援が得られるので、高い水準の密度ある教育がなされている。また、総合大学の一員として、大学の図書館を始めとして、いろいろの施設も利用でき、よりよい環境にも恵まれている。

教育内容は一般教養科目全般に各専任教員が豊富な知識を教授し、専門科目でも理学療法学科、作業療法学科とも解剖、生理、運動学を中心とした基礎医学の教育に力をいれている。理学療法学科の専門科目として、内科系、外科系疾患の概要、その評価、治療(運動療法を主体)、日常生活能分析学などが中心である。作業療法学科はOT原理、身体障害作業療法、精神障害作業療法、日常生活能分析学、職業前作業療法などを中心として教授している。さらに、本学の隣に応用電気研究所があり、交流も盛んで、医用電子工学を利用した教育と研究が行われている。

三年制の短期大学ではあるが、両学科ともリハビリテーション医学の発展にともない、それに応じた治療者としての人間形成、基礎知識、臨床治療を中心として、教育、研究、臨床の三本柱として役立ち、次代を担う理学療法士、作業療法士を育成することを目標として、教職員並びに学生諸氏と努力を重ねていく所存である。

(理学療法学科 福田 修)

(作業療法学科 丸谷 隆明)